

【研究概要】

化合物ライブラリー・スクリーニングを用いた放射線増感効果を高める新規前立腺癌治療薬の開発

(波多野 浩士)

「化合物ライブラリー・スクリーニングを用いた放射線増感効果を高める新規前立腺癌治療薬の開発」

放射線治療は前立腺癌に対して有効であるが、治療後に局所再発を来たす症例を経験する。放射線治療効果を高める薬剤を同定し、臨床応用できれば再発リスクを低減できる。本研究はジョンスホプキンス大学の Shawn Lupold 博士と共同研究にて行う。ルシフェラーゼ導入前立腺細胞株を用いて、化合物ライブラリー・スクリーニングを行い、放射線感受性を高める薬剤を探索する。本研究は放射線治療効果を高める画期的新薬の創出を目指す。